

登録コード	A3595433	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究Ⅱ					担当教員	高谷 智英	
英文授業名	Thesis ResearchⅡ							
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	4年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	動物生命科学の研究に必要な能力を身に付ける。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	動物生命科学の研究に必要な能力を身に付ける。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	動物生命科学の研究に必要な能力を身に付ける。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	動物生命科学の研究に必要な能力を身に付ける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	専攻研究を通じて、以下の事項を実践する。 1. 世の中の問題を把握する（研究テーマの設定） 2. 仮説を立てる（既存の知見からの推定） 3. 仮説を判定する（実験によるエビデンスの収集） 4. 実験結果を解釈する（データの解析） 5. 研究内容を説明する（理論の構築）							
(5)授業計画	研究テーマを設定し、仮説を立て、それを証明するために実験し、結果を解釈し、データをまとめ、他者に理解できるように発表し、新たな研究につなげます。							
(6)自主学習の指針	専攻研究では、自分で考え、自ら学ぶ姿勢が不可欠です。							
(7)成績評価の基準	実験への取り組み、実験結果のまとめ方、研究内容の理解と表現を総合的に判断して評価する。							
(8)事前事後学習の内容	専攻研究中は不断の学習が不可欠です。							
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます。							
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準： S：90-100、A：80-89、B：70-79、C：60-69、D：59以下							
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問・相談は研究室にて随時受け付けます。							
(12)履修上の注意	対象学生：動物資源生命科学コース4年生。研究室配属後の履修になります。開講形式は研究室ごとに異なるので注意して下さい。							
【教科書】	専攻研究に必要な教科書を適宜指定する。							
【参考書】	専攻研究に必要な学術論文を適宜指定、または自身で検索する。							